

## 「次期『徳島教育大綱』への御意見募集！」の募集結果について

1 意見募集期間 令和5年8月3日（木）～令和5年8月16日（水）

2 意見件数 41件

3 主な御意見

**総論**

子ども達の可能性を引き出し広げる教育をしてほしい。／自分で考えて動く子どもを育てて欲しい。／個性を伸ばし協調できる人材を育てて欲しい。  
生き抜く力を育む衣食住について学び、自ら作り出す力を育む教育をしてほしい。

**重点項目Ⅰ**

教育DXを推進して欲しい。／英語教育を充実して欲しい。／中高生が徳島県の魅力を学びSNSで発信する機会を設けてはどうか。

**重点項目Ⅱ**

学区制を見直し、平等にして欲しい。／難関大の合格者を増やして欲しい。／向上心を高めるのが課題。／農業高校の底上げをして欲しい。／通学方法の選択肢を増やして欲しい。

**重点項目Ⅲ**

専門スタッフ確保や義務教育中の学び直しなど、不登校生徒に対する支援を充実してほしい。／特別支援教育の専門性を備えた教員が不足している。

**重点項目Ⅳ**

学校のトイレを新しくして欲しい。／校舎全ての建て替えを盛り込んで欲しい。／習い事のスクールバスが有れば嬉しい。

**重点項目Ⅴ**

教員の働き方改革を進めて欲しい。（教材の工夫、学校の役割軽減など）／地域ぐるみでの体験的な学習を充実して欲しい。／高齢者などを交えた避難訓練などの防災学習が必要。

**重点項目Ⅵ**

地元徳島の良さや歴史文化をたくさん学び、故郷に誇りと自信を持って欲しい。／体力作りの時間を確保して欲しい。

など

「次期『徳島教育大綱』へのご意見募集！」の募集結果一覧

総論

番号		テーマ	ご意見
1	40代	一人一人が輝く教育の実現	子供たちは大きな可能性をもっています。その可能性を引き出し、広げる教育が進められるような方針を盛り込んでほしいです。それは、子供たちが自己肯定感を高め、夢と希望をもって未来を切り拓いていこうとする姿につながると思います。そのためには、個別最適な学びの充実とともに、仲間や周りの人たちとのつながりを大事にした取組の推進が重要だと思います。教員の確保、教員の研修の充実、学校における環境や教具等の充実、体験的な学習、かかわりのある授業、本物を感じる経験等が進んでいくといいなと思います。
2	20代	私が学級経営で大切にしていること	私は小学校の教員をしており、『自分で考えて動く子ども』を育てたく、頑張っています。クラスでは「あなたはどうしたいの?」「次はどうする?」という声かけをし、自分で考え、選択させることを心がけています。そのおかげか1学期だけでも「教科書を忘れたので、隣の子に見せてもらいます」「給食エプロンを忘れたので、友達に頼んで代わってもらいました」など自分で考え、動いている子どもたちの成長に嬉しく思っています。自分で考え、選択するということは今後の社会で生きていくためにも大切で、『未来社会の創り手』に繋がっているのではないかなと感じました。これからも『自分で考えて動く子ども』をテーマに頑張りたいなと思います。
3	40代	次期「徳島教育大綱」について	社会の問題に柔軟に対応できる能力を育成する教育が重要です。まず、多様な視点を持つことが大切であり、異なる立場やバックグラウンドを尊重し、その視点からのアイデアを取り入れる柔軟性を養うべきです。また、変化への適応力を高めるために、新しい状況や情報に対して素早く対応し、適切な判断を下すトレーニングが必要です。さらに、チームでの協力やコミュニケーションスキルも不可欠であり、共同作業を通じて他者との連携を学び、協力して問題を解決できる力を育むべきです。継続的な学習と自己評価も大切であり、自身の弱点や成長の余地を見つけることで、自己改善を図る姿勢を持つ人材が地域の活性化につながると考えます。
4	30代	個性を出していくことが重要	人口減少が進む中、今後、日本は世界での地位が低下することが予想されます。外国人が日本に出稼ぎに行くのではなく、日本人が世界各地に出稼ぎに行く。そして日本はこれまでのような中間層ではなく、貧困層が大多数を占めます。このような時代が来る中で、個人として、国全体として少しでも上向くためには、これまでの画一的な一斉授業ではなく、個性を伸ばし、主張し協調できる人材を育成する教育が必須になると思います。ここにある大綱の方針はそのとおりだと思います。ただし、最も難しいのはその方策ですので、実現できるよう期待します。
5	30代	大綱策定の趣旨に沿った活動の要望	大綱策定の趣旨・基本方針に沿って、その具体的な活動について述べたいと思います。今後予測できない未来に向けて、自ら生きぬく力を育むための衣食住について学び、自ら作り出す力を育む教育をしていただきたいと思います。また、校外活動を積極的に行うことで、地域の人々の暮らしや仕事について学んだり、地元徳島の良さや日本の歴史文化を学び、自ら主体的地域の活性化や国づくりに関わることのできる大人に成長できるような教育を目指して欲しいです。

## 重点項目 I

番号		テーマ	ご意見
6	20代	伝統に裏打ちされた進取の精神	藍染とか阿波踊りとかの伝統をしっかり学んでほしい。徳島の歴史や文化を学んでほしい。自分たちの県民性を理解してほしい。自然の中で生まれた命を体感してほしい。英語頑張してほしい。新しい価値を創造し、次世代の徳島を自らの手で開拓してほしい。故郷に誇りと自信を持ってほしい。
7	40代	全般	プロスポーツが増え、外国人が増える中でインターナショナルスクールが必要。徳島市内に習い事が集中するので習い事のスクールバスが有れば嬉しい。個人レッスンの数が郊外は少ないので発信する場所の提供。
8	30代	最先端のデジタル環境を用いた教育	生徒1人1台端末の利用時には必ず機材トラブルが起こり、必ずしも効果的に活用できているとは言えない。費用面の問題もあるが、県立学校で支給された某中国メーカーのタブレットはとくにひどく、その対応に苦慮している。全国トップクラスの情報インフラを教育でも最大限利用できる最先端のデジタル環境を準備してほしい。
9	30代	徳島を日本の中の海外に	①目指せ生徒あたりの海外進学率全国NO.1②全小学校～高校へのネイティブ英語教師の常駐、スピーキング授業の拡充③全公立高校に海外との姉妹校提携を推進④外国人教師の雇用促進⑤姉妹校提携した海外校との交換留学生制度の創出⑥日本にいなから、海外スタンダードの教育水準(インターナショナルバカロレア)に匹敵する外国語教育プログラム⑦県主体で推進する全高校横断型で選抜する生徒を一年を通じて模擬国連へ参加させる⑧これらを通じ、徳島県の教育=高い英語教育水準を実現
10	50代	英語教育と国際交流	日本人が英語で政治や社会問題を理解出来るようになるには膨大な時間が必要です。上位層の子供には英語が必要です。ですが、AIが綺麗に翻訳してくれる時代です。一般の子供は英語よりも、読書や新聞を読んで母国語での思考力を高めるべきです。中間層を育てて国を豊かにして下さい。英語ではなく思考力を育むことが国際交流です。
11	40代	教育DXの推進	DXで学習者の地理や経済の格差を解消してほしい。他市町村、県外、海外の学校間交流や施設見学など、普段できないことを、インターネットを活用して実現し、児童生徒の視野を広げる。また、児童生徒の学習履歴をAIが分析して、アドバイスを受けられたり、補充学習や発展学習が行えたりする。
12	10代以下	中高生による徳島県の魅力発信を	中高生が徳島県の魅力についてたくさん学び、GIGAスクール構想で得た成果をもとにするなどして、SNSで発信する機会を設けてはどうか？

## 重点項目Ⅱ

番号		テーマ	ご意見
1 (再掲)	40代	一人一人が輝く教育の実現	子供たちは大きな可能性をもっています。その可能性を引き出し、広げる教育が進められるような方針を盛り込んでほしいです。それは、子供たちが自己肯定感を高め、夢と希望をもって未来を切り拓いていこうとする姿につながると思います。そのためには、個別最適な学びの充実とともに、仲間や周りの人たちとのつながりを大事にした取組の推進が重要だと思います。教員の確保、教員の研修の充実、学校における環境や教具等の充実、体験的な学習、かかわりのある授業、本物を感じる経験等が進んでいくといいなと思います。
2 (再掲)	20代	私が学級経営で大切にしていること	私は小学校の教員をしており、『自分で考えて動く子ども』を育てたく、頑張っています。クラスでは「あなたは どうしたいの?」「次はどうする?」という声かけをし、自分で考え、選択させることを心がけています。そのおかげか1学期だけでも「教科書を忘れたので、隣の子に見せてもらいます」「給食エプロンを忘れたので、友達に頼んで代わってもらいました」など自分で考え、動いている子どもたちの成長に嬉しく思っています。自分で考え、選択するということは今後の社会で生きていくためにも大切で、『未来社会の創り手』に繋がっているのではないかなと感じました。これからも『自分で考えて動く子ども』をテーマに頑張りたいなと思います。
3 (再掲)	40代	次期「徳島教育大綱」について	社会の問題に柔軟に対応できる能力を育成する教育が重要です。まず、多様な視点を持つことが大切であり、異なる立場やバックグラウンドを尊重し、その視点からのアイデアを取り入れる柔軟性を養うべきです。また、変化への適応力を高めるために、新しい状況や情報に対して素早く対応し、適切な判断を下すトレーニングが必要です。さらに、チームでの協力やコミュニケーションスキルも不可欠であり、共同作業を通じて他者との連携を学び、協力して問題を解決できる力を育むべきです。継続的な学習と自己評価も大切であり、自身の弱点や成長の余地を見つけることで、自己改善を図る姿勢を持つ人財が地域の活性化につながると考えます。
4 (再掲)	30代	個性を出していくことが重要	人口減少が進む中、今後、日本は世界での地位が低下することが予想されます。外国人が日本に出稼ぎに行くのではなく、日本人が世界各地に出稼ぎに行く。そして日本はこれまでのような中間層ではなく、貧困層が大多数を占めます。このような時代が来る中で、個人として、国全体として少しでも上向くためには、これまでの画一的な一斉授業ではなく、個性を伸ばし、主張し協調できる人材を育成する教育が必須になると思います。ここにある大綱の方針はそのとおりだと思います。ただし、最も難しいのはその方策ですので、実現できるよう期待します。
7 (再掲)	40代	全般	プロスポーツが増え、外国人が増える中でインターナショナルスクールが必要。徳島市内に習い事が集中するので習い事のスクールバスがあれば嬉しい。個人レッスンの数が郊外は少ないので発信する場所の提供。
13	40代	赤ちゃん授業の拡大について	現在、県事業として行っている赤ちゃん授業の実施枠を広げる。徳島県下で小学校、中学校、高校、大学の各一校のため、実施数は4校となる。アンケート結果はかなりの満足度の高い内容になっており、生徒学生にとっても、また地域の赤ちゃんと保護者の方の協力により交流を行うことから、地域との関わり、また子育て中の保護者の社会参加にも繋がる活動となり、現在の少子化対策と10年先の少子化対策にもなるのではないだろうか。助産師会より講義授業も行っているが、助産師の講義だけよりも、体験を踏まえた地域の赤ちゃんとの交流までをセットにした取り組みがより一層、生徒学生の心に残り気づきの多い授業になると考えられる。
14	30代	徳島県教育大綱	徳島大学における総合大学化の推進
15	30代	徳島県教育大綱	徳島県が慶応義塾大学徳島中等教育学校の誘致開校を行う
16	30代	徳島県教育大綱	徳島県の県立高等学校の普通科をすべて文理科にする
17	30代	徳島県教育大綱	鳴門高校、阿波高校、脇町高校、海部高校に理数科の復活をさせる

番号		テーマ	ご意見
18	20代	徳島県教育大綱	鳴門教育大学附属中等教育学校を開校する
19	70代以上	少子化の今、高校入試は廃止すべし	県立高校が平等であるならば、どこの高校も同じレベルにするべきだ、又やる気のある生徒、高校に入ればいい生徒、そこで、徳島市内に2校、県南と県西部に各校ずつ優秀高校を設置して文理に負けない県立高校を、そな他は平等だから近くの高校、が、別に商業、料理、コンピュータの専門の高校もつくり、教師絶対主義の仰げば尊し我が師の恩は廃止、皆んな給料貰っての教師、今頃教師絶対論からの脱却ばかり楽しい高校にすべきで有る。
20	50代	身近なもので工作	先日、とある文化施設で、多くの子もたちが工作する場面に出会いました。一人ひとりが思い思いに楽しそうに作っていました。学校の図工の時間も楽しいのだろうと思いましたが、小学校の図画工作の時間では、材料などがすべて整えられた教材を使うことが多いと聞きます。全てなくすのは、先生方の負担にもなるでしょうが、家庭や自然の中にあるもので、自由な工作ができるような環境となればよいな、と思います。
21	40代	重点項目のⅥについて	昔は、小学校で朝のマラソンがあったり、毎週学年ごとに持久走のタイムを測ったりと、今より学校で体力作りに時間をかけてくれていた。小学校で、そのような時間を確保することは、今では難しいのだろうか。とても大切なことだと思う。また、徳島のお国柄か、現状に満足しがちで向上心が低いと思う。これを高め、他県の選手に負けたくないというメンタルを育てるにはどうしたらよいか課題であると思う。これは、スポーツだけではなく、学業にもどの場面にも当てはまることであると思う。
22	40代	高校入試の学区制について	高校入試における通学区域制の見直しを再度ご検討いただきたいです。城東高校が全県一区になってから3年間は経過を見るといことであります。令和5年3月の入試でその3年をむかえたかと思ます。制度変更の効果や影響等の検証報告を早期にさせていただき、徳島県内全ての受験生が学区内外にとらわれず学ぶ機会を得られるように学区制の撤廃にさらなる一歩を踏み出していきたいと考えます。
23	40代	学区制	学区外の郡市から徳島市内の普通科高校を受験しようと思ったら、最低でも基礎学で430点はないと受けさせてもらえないのに、徳島市内だと320点くらいでも受けられるのは平等ではないと思います。住んでいる場所が原因で教育格差が生まれていることを改善してほしいと思います。
24	50代	高校の学区制見直して	鳴門市内の中学2年生の保護者です。「夢と志あふれる人材の育成」を基本方針とされるのは良いですが、鳴門市内の中学生（保護者）にとっては、高校の学区制は夢も希望もない制度です。学区制をなくすと長距離通学を強いられるという意見があるようですが、鳴門市がある第2学区は東は鳴門市から西は三好市まで東西に広く、鳴門市から三好まで通学するのは現実的ではありません。徳島北高校には自転車で通学できる距離にあるにもかかわらず学区制の壁により、流入率が決められています。受験は公平であるべきです。公平な高校受験制度実現のため、学区制をなくしてください。
25	40代	学区制の廃止と教職員の働き方改革	高校入試の学区制を廃止すべきだと考える。徳島県に住みながら、県立高校に合格するために、合格点に差があるのはおかしい。一刻も早い是正をお願いする。また教員の働き方改革は急務である。教員の現状は悲劇的であり、いつ今の教育体制が崩壊してもおかしくない状況にある。教員に子ども向き合う時間を増やして、その他の業務を大胆に削減しなければ学校の未来はないと感じる。
26	60代	難関大の合格率を	徳島は東大合格率が全国最下位だという、もちろん難関大の合格がすべてではないが、徳島県としての合格者目標を出すべきではないのか、最下位であることで構わないという認識ではないはず、ぜひ記載いただきたい、難関大の合格者を増やすことの意味は必ずある
27	20代	部活の時間短縮	部活の時間を制限するのが良いと思います。勉強との両立ができるようにすべきだと思います。
28	20代	部活動の活動時間の制限	学校や部活動の種類にもよりますが、部活動の時間を制限して勉強との両立ができるようにした方が良いと思います。教師の勤務時間の点からもそうした方が良くと思います。

番号		テーマ	ご意見
29	50代	農業科高校を中心に	徳島県は専業農家も多いが普通科高校を好む傾向が強い。しかし若者の県外流出へ繋がっている。地元で就農し地元で定着する若者を育成する農業高校を付加価値を上げるような取り組みを是非お願いしたい。県外は農業高校でも学力が高いところもある。農業の盛んな徳島でもっと農業高校の底上げをし、徳島を担う人材を育てる位置付けになるように期待します。
30	50代	3ない運動の廃止	高校生にバイクの免許を取らせない・乗らせない・持たせないとしていたが、法律で決められた免許取得年齢に対して学校が介入し、制限をかけるのはもう緩和しても良いと思う。公共交通機関が乏しく、バスの廃線になったエリアでは自転車のみとなると、時間のロスが大きい。高校生が徳島市内へ原付で乗り入れると危険度は増すと想像出来るが、郊外の不便さの実状は知って欲しい。どれだけのニーズか調べてないので未知数だが、通学方法の選択肢を増やして欲しい。都市部で事故が多発する事が安易に予想された電動キックボードが解禁のニュースを見て、高校生の免許取得がだめとは…。安全教育は本来、家庭がすべき事
31	50代	学区制の排除と特色ある学校作り	私は、10年前と12年前に鳴門市の中学校のPTAの代表として、県の教育委員に要望に伺いました。内容は、学区制を無くす事と不可能であれば、大麻中学校だけでも徳島北高校の定員のパーセンテージを上げることであったと記憶しています。しかし願いは叶いませんでした。生徒達が行きたい学校を学区制によって制限されることは、どう考えてもおかしいことです。他県では考えられません。改めて考えて頂きたいと思います。
32	—	—	基本方針等については、共感するところですが、「夢や志、希望が持て」「郷土への愛や誇りが持て」「主体的・意欲的に学び続けられる」教育環境を実現するためには、教育の機会平等、公平・公正な受験制度の実現が不可欠と考えます。 しかしながら、現在の本県における公立高校の通学区域制（いわゆる学区制）は、学区内外で合格点に大きな差が生じているなど、教育の機会平等、公平で公正な受験制度とはなっていないのが実情です。 こうした現状については、子どもたちが切磋琢磨し、学習意欲を喚起できる教育環境には程遠く、次期教育大綱に掲げる基本理念等にも反するものであると考えます。 よって、徳島県におかれましては、県内全ての子どもたちにとって、真に公平で公正な受験機会が確立されるよう、公立高校の学区制の見直しに関して、教育大綱において盛り込まれるよう意見を提出します。

### 重点項目Ⅲ

番号		テーマ	ご意見
33	30代	増加する不登校生徒に対する対応	不登校となった生徒に対して、より専門的な知見を生かした支援の充実や多様な学びの方法の実現に対応する。現状では、不登校生徒への対応が現場でかなりの負担になっており、十分フォロー出来ていないと言えない。専門スタッフを確保して、支援の充実を図ってほしい。
34	50代	ポジティブな行動支援に基づく特別支援教育	特別支援教育を必要とされる生徒の人数は増加傾向にあるが、その専門性を備えた教員は不足している。個別な学習が必要であるのに、少人数というだけの一斉学習を受けている生徒も多いのが現状である。そのため、個性を發揮できず、教室の荒れの状況を招いてしまうこともある。そこで、ポジティブな行動支援を行える専門の教員の育成が望まれる。
35	40代	不登校と向き合う学校づくりについて	夜間中学校や、定時制で行われる「学び直し」は、不登校を経験した子どもたちには、拠り所となる大切な場所である。が、義務教育中に、そのような学び直しの機会を設けることができれば、子どもたちの未来がもっと広く開かれると思う。不登校や、起立性調節障害などで朝からの登校が困難な児童等が、通っている小中学校で、午後や放課後の時間に学習を補うような機会を持つことが出来たらいい。教員の負担が増えないように、大学生ボランティアや地域の方の協力を得ることで、地域との繋がりもうまれるのでは。

### 重点項目Ⅳ

番号		テーマ	ご意見
7 (再掲)	40代	全般	プロスポーツが増え、外国人が増える中でインターナショナルスクールが必要。徳島市内に習い事が集中するので習い事のスクールバスが有れば嬉しい。個人レッスンの数が郊外は少ないので発信する場所の提供。
36	20代	児童・教員にとって快適な学校環境	学校のトイレの設備がとても古く、ドアが壊れていたり、衛生的な問題を感じたりします。トイレが清潔であることは、多くの人に安心や快適さを提供することになると思います。学校のトイレを新しくしてほしいです。
37	50代	「日本一の教育環境」に向けて	県南県西の高等学校の校舎を見ると、長寿命化をしているとはいえ、古すぎて、日本一と言うには恥ずかしい。知事が掲げる異次元の政策から考えて、こういった校舎全ての建替えを趣旨に含んでいただきたい。

## 重点項目V

番号		テーマ	ご意見
1 (再掲)	40代	一人一人が輝く教育の実現	子供たちは大きな可能性をもっています。その可能性を引き出し、広げる教育が進められるような方針を盛り込んでほしいです。それは、子供たちが自己肯定感を高め、夢と希望をもって未来を切り拓いていこうとする姿につながると思います。そのためには、個別最適な学びの充実とともに、仲間や周りの人たちとのつながりを大事にした取組の推進が重要だと思います。教員の確保、教員の研修の充実、学校における環境や教具等の充実、体験的な学習、かかわりのある授業、本物を感じる経験等が進んでいくといいなと思います。
5 (再掲)	30代	大綱策定の趣旨に沿った活動の要望	大綱策定の趣旨・基本方針に沿って、その具体的な活動について述べたいと思います。今後予測できない未来に向けて、自ら生きぬく力を育むための衣食住について学び、自ら作り出す力を育む教育をしていただきたいと思います。また、校外活動を積極的に行うことで、地域の人々の暮らしや仕事について学んだり、地元徳島の良さや日本の歴史文化を学び、自ら主体的地域の活性化や国づくりに関わることのできる大人に成長できるような教育を目指して欲しいです。
13 (再掲)	40代	赤ちゃん授業の拡大について	現在、県事業として行っている赤ちゃん授業の実施枠を広げる。徳島県下で小学校、中学校、高校、大学の各一校のため、実施数は4校となる。アンケート結果はかなりの満足度の高い内容になっており、生徒学生にとっても、また地域の赤ちゃんと保護者の方の協力により交流を行うことから、地域との関わり、また子育て中の保護者の社会参加にも繋がる活動となり、現在の少子化対策と10年先の少子化対策にもなるのではないだろうか。助産師会より講義授業も行っているが、助産師の講義だけよりも、体験を踏まえた地域の赤ちゃんとの交流までをセットにした取り組みがより一層、生徒学生の心に残り気づきの多い授業になると考えられる。
20 (再掲)	50代	身近なもので工作	先日、とある文化施設で、多くの子どもたちが工作する場面に出会いました。一人ひとりが思い思いに楽しそうに作っていました。学校の図工の時間も楽しいのだろうと思いましたが、小学校の図画工作の時間では、材料などがすべて整えられた教材を使うことが多いと聞きます。全てなくすのは、先生方の負担にもなるでしょうが、家庭や自然の中にあるもので、自由な工作ができるような環境となればよいな、と思います。
27 (再掲)	20代	部活の時間短縮	部活の時間を制限するのが良いと思います。勉強との両立ができるようにすべきだと思います。
28 (再掲)	20代	部活動の活動時間の制限	学校や部活動の種類にもよりますが、部活動の時間を制限して勉強との両立ができるようにした方が良いと思います。教師の勤務時間の点からもそうした方が良くと思います。
38	50代	教員の働き方改革をもっと進めて	定額働かせ放題などといわれている現状を変えて欲しい。
39	40代	地域ぐるみで取り組む防災学習	防災学習が小中高等学校で行われているが、本県は災害時に援助が必要な高齢者が多いので、地域の現状を把握するためにも高齢者や子供たちなどを交えた避難訓練などの防災学習が必要であると思われる。
40	40代	社会全体のウェルビーイングについて	教員が、生徒に向き合う以外の仕事が多すぎて、子どもの教育のために割ける時間が少なすぎる。教員の数を増やすか、教員がしなくても問題のない仕事をアウトソーシングするなどの体制を整えてほしい。また、どの教育現場でもバランスのとれた年齢構成で教員を配置できるような、人材の確保の仕方を考えて欲しい。
41	40代	教育のスリム化	「基本方針」に示された人財の具体像も、「重点項目」にある6本の柱も、盛りだくさんではないですか。学校の役割を軽減する方策を考えてください。

## 重点項目Ⅵ

番号		テーマ	ご意見
5 (再掲)	30代	大綱策定の趣旨に沿った活動の要望	大綱策定の趣旨・基本方針に沿って、その具体的な活動について述べたいと思います。今後予測できない未来に向けて、自ら生きぬく力を育むための衣食住について学び、自ら作り出す力を育む教育をしていただきたいと思います。また、校外活動を積極的に行うことで、地域の人々の暮らしや仕事について学んだり、地元徳島の良さや日本の歴史文化を学び、自ら主体的地域の活性化や国づくりに関わることのできる大人に成長できるような教育を目指して欲しいです。
6 (再掲)	20代	伝統に裏打ちされた進取の精神	藍染とか阿波踊りとかの伝統をしっかりと学んでほしい。徳島の歴史や文化を学んでほしい。自分たちの県民性を理解してほしい。自然の中で生まれた命を体感してほしい。英語頑張してほしい。新しい価値を創造し、次世代の徳島を自らの手で開拓してほしい。故郷に誇りと自信を持ってほしい。
12 (再掲)	10代以下	中高生による徳島県の魅力発信を	中高生が徳島県の魅力についてたくさん学び、GIGAスクール構想で得た成果をもとにするなどして、SNSで発信する機会を設けてはどうか？
21 (再掲)	40代	重点項目のⅥについて	昔は、小学校で朝のマラソンがあったり、毎週学年ごとに持久走のタイムを測ったりと、今より学校で体力作りに時間をかけてくれた。小学校で、そのような時間を確保することは、今では難しいのだろうか。とても大切なことだと思う。また、徳島のお国柄か、現状に満足しがちで向上心が低いと思う。これを高め、他県の選手に負けたくないというメンタルを育てるにはどうしたらよいか課題であると思う。これは、スポーツだけではなく、学業にもどの場面にも当てはまることであると思う。